

## 中国路をゆく ②

# 島

# 根

# 県

三浦 清

前面を長い海岸線で 背面を急峻な脊梁山脈にふちどられた細長い島根県は 日本海に浮ぶ隠岐島をも加えて美しい豊かな自然に恵まれている。

出入りに富む美しい海岸線 縄文の昔をしのばせる宍道湖 中海の風情 高中低の侵食平坦面と これを刻む溪谷の景観 大山火山系の火山の容姿など どれを取ってみても誇るにたる自然そのものの素材である。

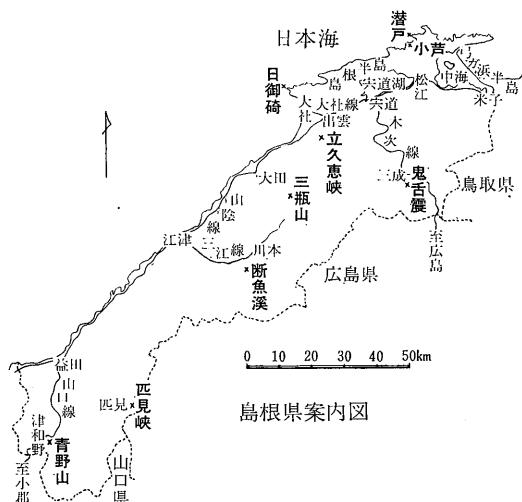
隠岐島は大きく島後 島前に分けられる。島後はそのほぼ中心に隠岐変成岩類（主として片麻岩）が露出しそれを取りまいて新第三系が分布する。洪積世になってから 玄武岩の著しい噴出が行なわれた。島前はそのほぼ中心に石英閃長岩が露出する。それを中心として海士（あま） 知夫里（ちぶり） 西ノ島（にしのみま） 三島の玄武岩島が配列する。玄武岩はしばしば粗面岩脈に貫かれる。この玄武岩は隠岐全体としての洪積世における玄武岩の活動の一部に対応するものである。この島の中心部 石英閃長岩に接して新第三系の分布が

みられる。隠岐島における鮮新世以降の火山活動が日本海アルカリ岩石区を構成する重要な位置をもつことはよく知られている。

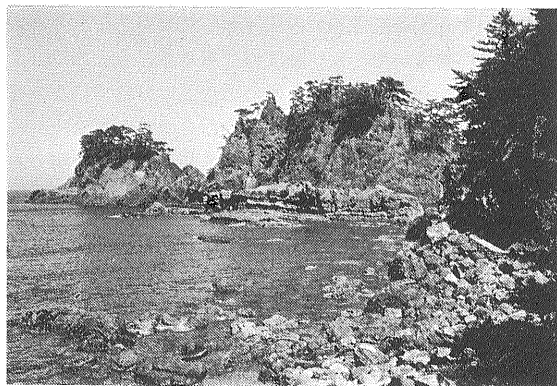
目を本土に移すと県境を走る脊梁山脈は 広島—三瓶構造線を境としてその東に東西の配列をもつ道後山山塊 その西に東北—南西方向に走る冠山山塊の二つの部分からなる。いずれも標高1,000m以上の高峰が並び 山頂には高位侵食平坦面が残されている。これら脊梁山脈を構成する岩石の大部分が後期中生代酸性火山砕屑岩類である。

広島—三瓶構造線は 出雲 石見両国の境界線とほとんど一致する。その東が出雲国 西が石見国という具合で それぞれの地形は全く対照的である。出雲部では脊梁山脈の北側に広大な花崗岩類が分布し その分布は殆んど宍道湖 中海付近まで連続する。一方 石見部では 脊梁山脈の北側でなお後期中生代酸性火山砕屑岩が連続し 石見構造線を境に急激に三郡変成岩類や非変成古生層に変わる。出雲は起伏の少ない花崗岩地形 石見は起伏の大きい 急峻な斜面をもつ後期中生代の酸性火山砕屑岩や古生層からなる地形という表現があたっている。しかも石見では その岩質から東北—南西系の断層谷あるいは断層線谷が残され 一層その地形にきびしさを与えている。これが昔から両国に経済 文化の差をもたらした原因ともなっているといえ 少し大げさであろうか。新第三系（中新統）は 出雲部においては島根半島をはじめとして宍道湖 中海南北岸やその西方に東西に分布し 一部は花崗岩地帯に湾入する。一方 石見部では 古生層中に湾入する形でしか新第三系を見ることができない。

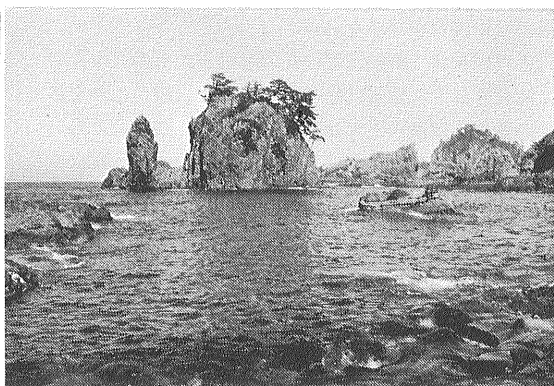
森鷗外 西周 また岩石屋にとって忘れてはならない小藤次郎の出生地として知られる県西部の城下町津和野には青野山があって それから東へ大江高山 三瓶山と大山火山帯に属する洪積世の火山が北東方向に配列する。いずれも美しい鐘状火山であって 三瓶 大江高山は石英安山岩 青野山は角閃石安山岩からなる。この配列が三瓶山から大山へと東方に向きを変えていることも気になる事で 海岸線の方向に目をむけても同じ事がいえそうで 広島—三瓶構造線の持つ地質学的意義も



島根県案内図



① 浄土が浦 記念切手ともなった付近



② 浄土が浦付近の離れ島 ローソク島の名で呼ばれる断層に沿う選択的侵食の奇景

浅いものではなさそうである。

このような地学的性格のうえに築かれた島根県には大山隠岐国立公園をはじめとして 西中国山地国定公園 県立公園としての指定区域が多い。以下にその代表的なものについて紹介してみよう。

### A. 海岸

#### ① 浄土が浦 (国立公園)

隠岐島後布施海岸にあって大山隠岐国立公園に属する。付近の地質は下位から中新世の流紋岩質火山角礫岩を主とする地層 安山岩質火山礫凝灰岩と火山豆灰を含む凝灰岩の互層 安山岩溶岩からなっている。これら地層の走向とほぼ直交して東西に断層線が走って その北側が落ちこみ その部分で波浪による美しい選択侵食地形がつけられている。この断層線は東方に延び 断層部分の海食によりローソク島の奇岩をつくる。この付近には岬 離れ島 入江が交錯し 全体として沈水海岸の美を象徴しているといえよう。

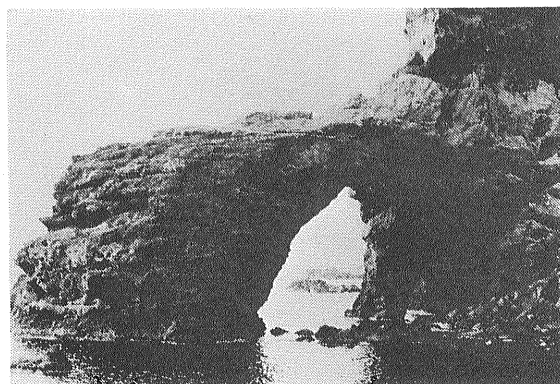
#### ② 国賀海岸 (国立公園)

隠岐島前西ノ島にあって 大山隠岐国立公園に属する。付近を構成する地質は 洪積世の粗面玄武岩の溶岩とその火山碎屑岩類を主とする。時々 これらを貫くアルカリ粗面岩の岩脈をみることがある。

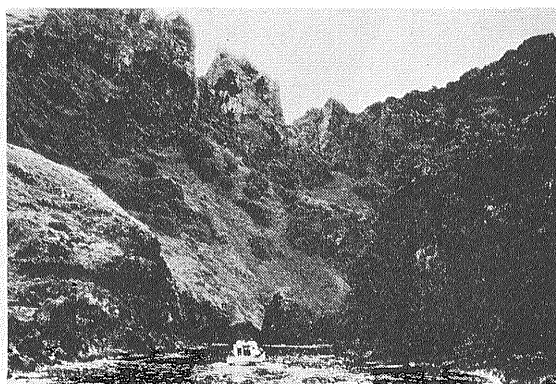
この海岸の美しさは 何といっても激しい北西風によって作りだされた断崖地形にある。それは摩天崖と呼ばれ 海面との標高差約200m以上に及ぶ延々4kmに達する連続断崖で そのスケールは本邦稀にみるものであろう。また この付近には海食洞もよく発達し その代表的なものに通天橋と呼ばれるものがある。その橋に相当する部分は かつての海食平坦面であらう。海食洞の天盤が完全に陥落することによってつくられる奇妙な形の離れ島も この付近には多い。

#### ③ 加賀一小芦海岸 (国立公園)

島根半島八束郡島根町一帯の岩石海岸がこれにあたり大山隠岐国立公園に属する。断崖 海食洞 入江 離れ島など美しい変化に富んだ沈水海岸は 格別のものがある。中でも潜戸(くけど)と称する海食洞は有名で



③ 国賀海岸 通天橋



④ 国賀海岸 摩天崖

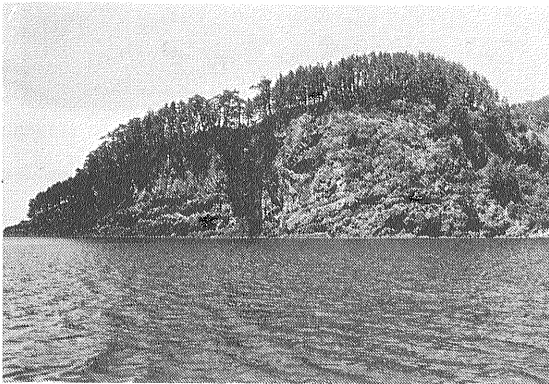
新潜戸と旧潜戸の二つがある。

付近の地質は 新第三紀の安山岩溶岩やその火山砕屑岩で構成され 粗粒玄武岩や安山岩の小岩脈がこれを貫いている。 新潜戸と呼ばれる海食洞は 断層線に沿って潜戸鼻の岬を貫通しているが その途中で これに直交する断層線をうがった別の海食洞と交わり そこで三方

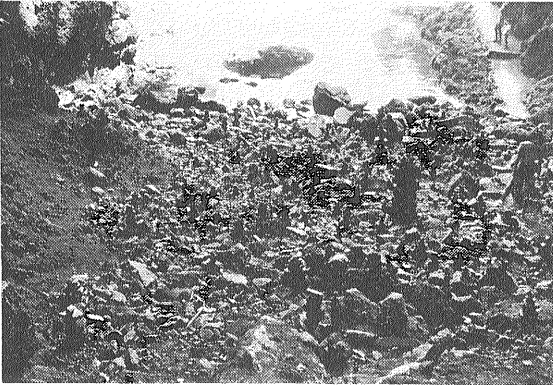
に洞門を有する高さ40mの広々とした洞窟となっているが この部分がやや軟い凝灰岩であることも この広さに関係している。 スケールの大きさにおいて この海食洞は少なくとも山陰では第一級のものであろう。

旧潜戸は やはり断層線に沿って刻まれた海食洞であり 洞穴内には地藏尊がまつられ 幼児の霊をなぐさめる石積みの供養塔が積みあげられるなど いささか仏教的伝説にあふれ 愛児をなくした親たちが石を積みあげる姿は今でも見られる。 こうした海食洞のほかにも 付近一帯に波食をうけた主に安山岩からなる大小の離れ島が浮んで 日本海の青々とした水とよく調和し 一幅の名画を見るごとくである。

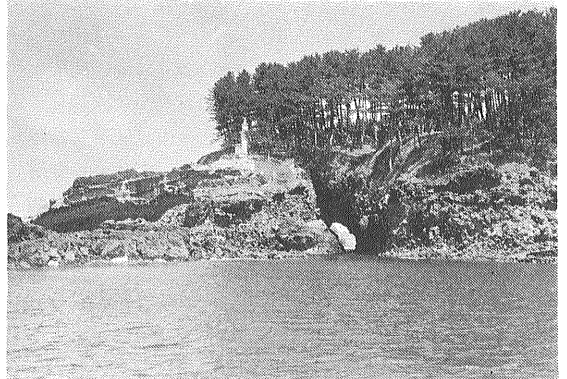
加賀の西方 小芦付近から西側の海岸では これら加賀付近の地質の下位層準にあたる頁岩砂岩互層や頁岩が広く露出し 大小の粗粒玄武岩の岩脈がこれらに貫入している。 海岸線の出入りは 地質構造やこれらの岩石の分布をよく反映している。 小芦海岸の「洗濯岩」は 砂岩頁岩互層からなり このような地質関係をよく示すものの代表的なものであろう。



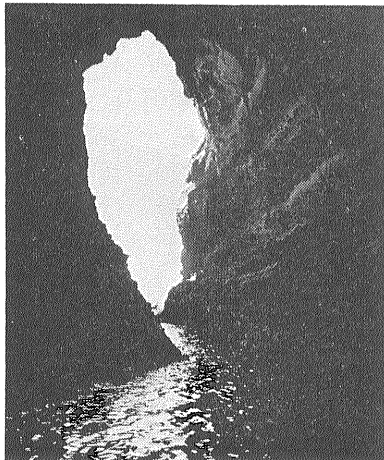
⑤ 加賀「旧潜戸」入口付近



⑥ 加賀「旧潜戸」内部 石積みの供養塔に注意



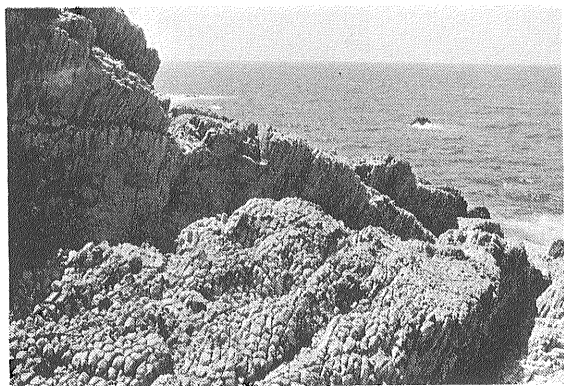
⑦ 加賀「新潜戸」入口付近



⑧ 「新潜戸」の内部



⑨ 加賀-小芦海岸 小芦付近の洗濯岩と呼ばれる風景



⑩ 日御碕突端部 柱状節理の発達する断崖



⑪ 日御碕 柱状節理の断面模様

#### ④ 日御碕海岸（国立公園）

出雲大社にほど近い島根半島西端部の岩石海岸で 大山隠岐国立公園に属している。

流紋岩とその火山砕屑岩類からなり その溶岩には著しく柱状節理が発達して 稀にみる岩石景観を示す。

日本海の荒波は 苛酷なほどにこの岩石に襲いかかって それを節理に沿って破壊し続け 大岩石塊と断崖をあとに残していく。付近には少なくとも二段以上の海食平坦面がみられ 東洋一を誇る燈台は特に広々とした平坦面上につくられ その眺望は素晴らしい。また 経島（ふみしま）はウミネコの繁殖地として有名で 3月から7月頃までの数ヶ月間 その乱舞する美しい姿は日御碕を訪れる人々にとって その自然景観と共に忘れ難い思い出となるにちがいない。

#### B. 溪 谷

##### ① 鬼の舌震（おにのしたぶるい）（県立公園）

仁多郡仁多町にあって 木次線三成駅から車で10分程

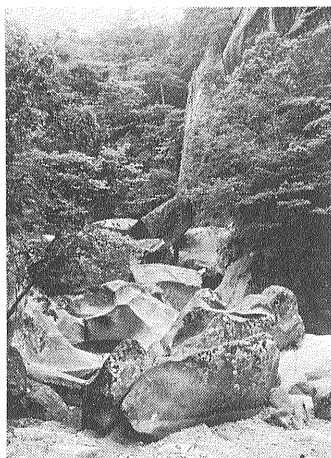
度のところにある。

伝説豊かな斐伊川の支流 馬木川の遷移点の位置にあって やや赤味を帯びた粗粒黒雲母花崗岩に形成されたV字谷である。溪谷は ほぼ 2km にわたって断層節理に支配される蛇行をくりかえす。兩岸の岩壁は多くが節理面そのもので 急崖をなして谷底に傾斜する。

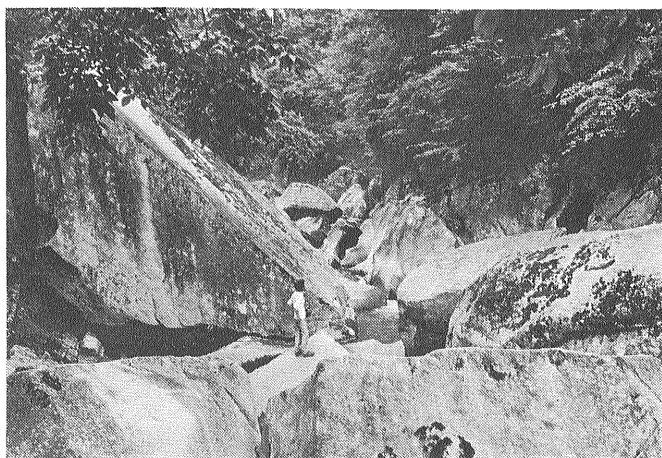
谷底には巨礫が累積し 径10mに近いものも稀ではない。その多くが側壁基部の激しい侵食により 節理面にそう崩壊によってもたらされたものである。巨礫の中には 一面あるいは二 三面の平面が残されているものが多いのは 崩壊以前の節理面の名残りであろう。

側壁基部の洞穴状の侵食模様 基岩や巨礫に発達するおびただしいおう穴などは 河流による侵食作用の激しさをよく物語っている。

一口に この溪谷の美観は河床の巨礫と山の緑の調和にあるといえるが それに果す花崗岩の節理の役割を忘れてはなるまい。

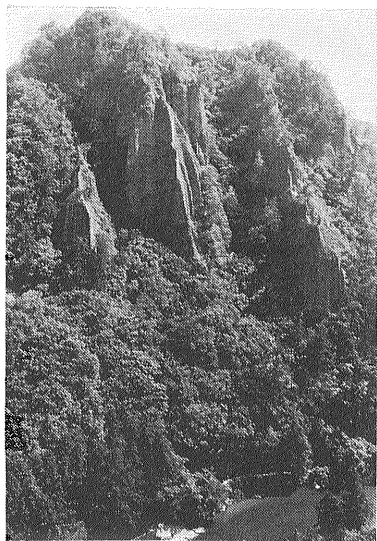


⑫ 鬼舌震 花崗岩の巨礫や基岩に発達するおう穴で直径4m以上のものもある。

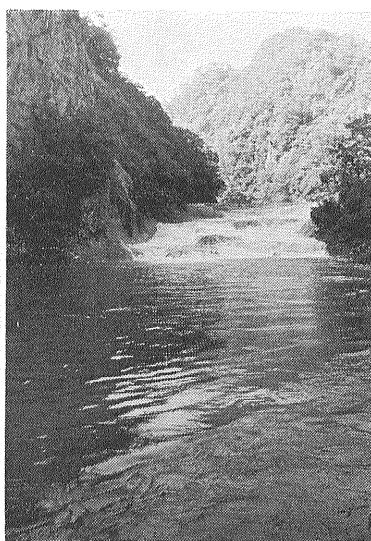


⑬ 鬼舌震 巨礫の中に平らな面をもっているものがある（本文参照）

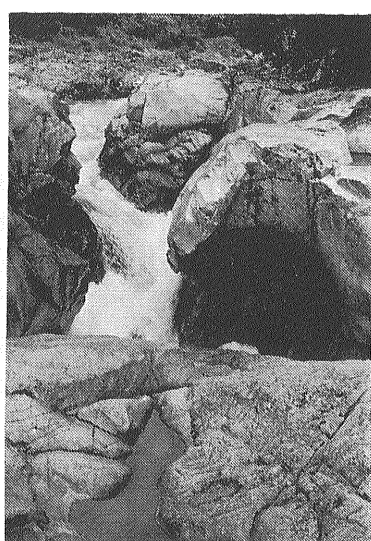




④ 立久恵峡



⑤ 断魚溪 下流側の遷移点付近



⑥ 断魚溪 上流側の遷移点付近

## ② 立久恵峡

出雲市乙立町にある。山陰線出雲市駅から神戸川に沿って車で約30分の所にある。

神戸川(かんどがわ)に沿う約1kmの間が山陰の耶馬溪といわれるほどの景観をもっている。

下部は新第三紀の自破碎性安山岩溶岩 上部は同質火山角礫岩 火山礫凝灰岩からなり 全体として左岸側に緩斜する。これら火山碎屑岩類は貧弱ながら層面に垂直な数方向の節理が発達する。

ここに見られる奇岩としての景観は 左岸側のほぼ中腹にある溶岩と火山碎屑岩との境界面以上の火山碎屑岩の部分に発達する。このような景観を示すに至った過程には 火山碎屑岩の岩質や節理が関係し 単なる雨水の侵食に基因するものではない。つまり 節理に沿う崩壊や両側を節理面によって境される巨大な板状岩塊の回転運動的な倒壊などが この地形をつくりあげたので

ある。今なお 半回転して静止した巨大な岩塊もみられ これも含めて平らな面からなる垂直な岩壁は つまり節理面そのものであるといえよう。

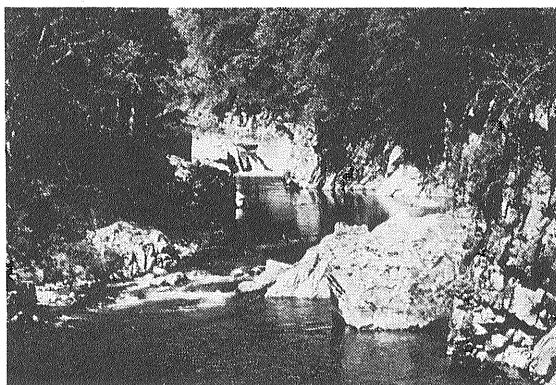
## ③ 断魚溪(県立公園)

邑智郡石見町にあり 三江線因原駅から車で6~7分のところにある。江川の支流 濁川に形成された上 下流二つの遷移点にはさまれた約1kmの部分にあっている。この付近の地質は いわゆる後期中生代酸性火山碎屑岩類の溶結凝灰岩を主体とする。

下流で大きく蛇行する濁川は 先ず第1の遷移点に至って滝をつくり その上流で河床高度をまして垂直にそそり立つ側壁の下に そこで広々とした岩盤からなる平坦な河床が展開する。さらに上流では やや川幅を減じて巨礫の累積する河床に変わり 巨礫や基岩には著しくおう穴が発達する。それを経て上流第2の遷移点に至るが そこでは基岩の節理を深く垂直に激しく刻みゆく溪流の姿をみることができる。目まぐるしく変化する溪流の自然の素顔が教科書的に展開する場所として貴重な資料である。

## ④ 匹見峡(西中国国定公園)

美濃郡匹見町にあり 山陰線益田駅から車で約2時間 広島県境にほど近いところにある。表匹見 裏匹見と呼ばれる秘境のV字谷として その渓谷美が有名である。付近一帯には 標高1,000mをこす高位侵食平坦面の名残りがみられ それを切りこむ東北-南西系の断層谷 断層線谷の発達は よく知られた事実であるが 匹見峡はこのような性格をもつ大峡谷である。



⑦ 匹見峡

溪流は硬い岩石を刻みこみながら蛇行をくりかえし流下して行くが 蛇行する部分にはしばしば深淵が形成されている。断層線の方向は確かに東北—南西系が優勢ではあるが これに直交する北西—南東系の断層も見逃しがたい。多くの蛇行点は この両方向の断層の交点付近にあり 断層に沿う流路の乗りかえこそ蛇行の原因であろうと思われる。

#### D. 湖 沼

① 中海 (なかうみ なかのうみ ちゅうかい) などの呼称がある。

中海は かつての美保湾のほぼ中央に形成された湾中央砂州としての弓ヶ浜半島によって内に抱かれた面積 104 km<sup>2</sup> 最大水深 9 m の汽水湖で 境水道をもって外海に通じている。

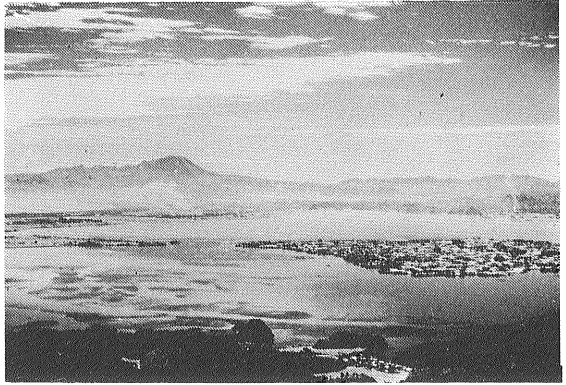
そのほぼ中央に 新第三紀の玄武岩とそれをおおう大山火山の噴出物からなる大根島が浮かんでいる。

延々 20km にわたって大山山麓から島根半島に向けて突出する弓ヶ浜半島は それを島根半島から眺めるといかにも国引きの神話に語りつがれた一本の引き綱そのもので 背後に映る大山の雄姿や夢の如く浮かぶ大根島と共に美しい中海圏の大自然をつくっている。一方では 冬の日に飛来する白鳥をはじめ 多種類の水鳥たちのやすらぎの場としても優れた自然条件をもっている。

この美しい自然も干拓事業によって変容しつつある。それも人の世のきびしい現実の姿であろうか。

② 宍道湖 (しんじこ) (県立公園)

島根半島と本土側を隔てるごとく広がる面積約 80km<sup>2</sup>

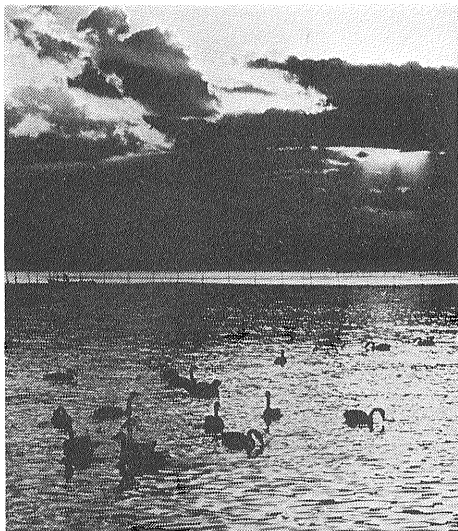


⑩ 中海 島根半島側から見下す風景 背景は大山 その山麓から突出する半島が弓ヶ浜半島である。 中海の中央に見える島が大根島

最大水深 6 m の汽水湖で その東岸 松江の大橋川をもって中海に通じている。西岸は出雲沖積平野に接し 神話豊かな斐伊川がここで流入する。湖の東岸近くには 玄武岩の嫁が島が浮かんで格別の風情を与えている。

湖の南 北岸には広く新第三系が分布し そのほぼ中心を大社湾から延びる断層性向斜軸が東西に走ってそこを地溝化した。縄文海進はそこを海峡とし 島根半島を本土と分かつ離れ島としたにちがいない。大山と三瓶山を杭として それに三縊(みつより)に纏った強い綱をかけ 「国引き」の神話の「国来い」「国来い」と呼んだ島こそ 当時 この海峡の向こうに浮かんでいたであろう島根半島にほかならない。

当時から今日までの間 自然がなしたこの海峡の大干拓事業の完成地域が出雲平野であり 未完成地域こそ実はこの宍道湖そのものである。



⑪ 中海 冬の訪れと共に毎年数百羽の白鳥が飛来する



⑫ 宍道湖 嫁が島(玄武岩)付近から見る落日の風景 背景は島根半島



④ 三瓶山 遠景は日本海および日御碕付近

いふなれば 神の力はついに島根半島をして本土に繋ぎとめたという事であろうか。

県都 松江市は東洋のベニスと呼ばれ 宍道湖と別にしては語るの事のできない町である。そこから眺める宍道湖の姿 わけても広大な湖面に映る落日の美観などは 訪れる人にとって終生忘れることのできないものの一つであろう。

### C. 山 岳

#### ① 三 瓶 山 (国立公園)

三瓶山は 出雲風土記で佐比売山(さひめやま)と称され 出雲 石見の境界付近に噴出した石英安山岩からなる第四紀火山である。今日 それは島根県を代表する山として県民に広く親しまれている。

外輪山に囲まれた面積 約4×5km<sup>2</sup>のカルデラ凹地のほぼ中央に 親三瓶(1,126m) 子三瓶(961m) 孫三瓶(907m) 大平山(855m) 女三瓶(957m)が 内側に室の内(むろのうち)と称するカルデラ凹地を抱

くように配列し 凹地内には室の内池や鳥地獄と称する噴気孔がある。親 子 孫 女の四峰は溶岩円頂丘 大平山は碎屑丘で それらの基盤は主として花崗岩類である。その活動の初期は およそ今から3万年以前とされるが 最終活動期が沖積世にまで及んだとする意見もある。

花崗岩類を主とする外輪山に囲まれた山麓には ゆるやかで広々とした草原が発達し そこには放牧牛ののどかな生活がある。山麓には含塩化土類食塩泉の三瓶温泉 小屋原温泉があり また 近くに有名な池田ラヂウム鉱泉もあって 登山やその美しい自然に親しむ家族連れ 観光客が多い。

山頂から北に眺める日本海や島根半島 南にひろがる中国山地の山なみ 秋ともなれば江川に立つ雲海の眺望 それらはすべて三瓶の自然に溶けこんだ雄大な景観である。

#### ② 青 野 山 (県立公園)

島根県の西南端 津和野町にある標高908mの角閃石安山岩かなる第四紀火山で 後期中生代火山碎屑岩類からなる比較的平坦な地形上に噴出した溶岩円頂丘である。

その活動時代はあまり明確ではないが 三瓶火山の活動初期時代と大差はないものと思われる。

その西麓 津和野の町は 岩石学者小藤文次郎をはじめ 森嶋外 西周など後世に残る多くの人材を生んだが 津和野の自然環境は 即 青野山の自然そのものの中にあることを考えると それも偶然ではないように思えるのである。

(筆者は 島根大学)



④ 三瓶西の原付近からみる雲海



④ 青野山 青野山を背景にする森林太郎(嶋外)の墓地